おしゃべりじゃ～なる

女性の目で見た地域情報紙
編集と発行　冨田栄子＆上田真由美
発行所　〒334 埼玉県鳩ケ谷市桜町2-9-5　☎ 048-285-6208
創　刊　昭和 63年10月2日
発行部数　10,000部(無料配布)
発行日　2,4,6,8,10,12月の隔月発行

日本初の美人画美術館

長野県の上郷町にオープン

鳩ケ谷の女流画家・浅井秀水さん

作品と共に故郷に寄贈される

この美術館は郷土「美人画美術館」を、という秀水さんの長年の夢が実現し、一年目開館予定）の隅りに

鳩ケ谷在住の日本画家・浅井秀水さんが、故郷の長野県下伊那郡上郷町に建設された、日本初の「美人画美術館」がこのほど完成、町立の『秀水美人画美術館』として、十一月一日（日）オープンしました。

左から３人目が山田隆士町長、その右側が浅井秀水さん

たもので、建築は画の段階で、それなら考古博物館（来

ということになったもの。一日の贈呈式のテープカットには、鳩ケ谷からも約四十人の方々が参加され、作品約七十点と共に上郷町に寄贈されました。

上郷町は来年九月には飯田市と合併することになっていますが、美術館の話ではオープン以来、一週間で約六百人が訪れ、文化の日には一百人の人で賑わったということです。美術館は＝R飯田線飯田駅から車で五分、新宿から急速バスで約二時間、中央自動車道・飯田ICより十五分のところにあります。入館料は大人二百円。始が休館となっています。

浅井秀水さん（大正八年生まれ）は日本画家・伊東深水に師事し、美人画の第一人者で、浦和・伊勢丹などでも毎年、個展を開催さ

鳩ケ谷市本町の自宅で

『伝説の沼』
第一勧業銀行の来年のポスターにもなっています

ユニークな企画で大好評

『知恵博士・わざ博士』大集合

鳩ケ谷郷土資料館が募集した『知恵博士・わざ博士』はユニークな企画で大好評のうちに十月末日で締め切りを迎えた。

応募総数は二十八人。自薦・他薦あり、たくさんの『博士』が集まったというので、どんな博士がいるのか、その推薦理由をちょっと覗いてみた。

孫に伝える『知恵博士・わざ博士』の推薦を――鳩ケ谷郷土資料館が募集した『知恵博士・わざ博士』はユニークな企画で大好評のうちに十月末日で締め切りを迎えた。

応募総数は二十八人。自薦・他薦あり、たくさんの『博士』が集まったというので、どんな博士がいるのか、その推薦理由をちょっと覗いてみた。

▼薬草博士：田舎育ちで山川・谷に明るい。
▼伝承行事博士：○○地方のお正月行事について。
▼田舎饅頭・煮物博士：玄人はだし。饅頭は、おいしいといったら毎日でも作ってくれる。
▼竹細工博士：竹とんぼ・竹馬・水鉄砲など、子供会で指導している。
▼万葉博士：古きがたずねられる時代、古人の言葉を正しく後世に伝える。風土記稿に発表した。
▼ケン玉・折り紙博士：主人は名人級で、孫の目を皿のようにして見られます。
▼歴史博士：尋常小学校・高等女学校の事等、大正・昭和・平成と鳩ケ谷の変遷を見てきた人で鳩ケ谷の歴史を後世に伝えられる。
▼漬け物博士・キュウリの押し漬けが得意。
▼藁細工：ムシロ編み・俵作り・縄編み。
▼伝承遊び博士：お手玉・ビー玉・トンタン遊び。
▼伝承行事博士：團玉造り・豆タドン造り。

中にはふるさと祭りで子供たちに「おじさんうまいね」と言われている人も。博士の認定、登録は来年早々に行われる予定で郷土資料館の武田館長は「たくさんの推薦」だったわ」と嬉しそうな笑顔。

『外かん』開通

「外かん」（東京外かく環状道路）が十一月二十七日、三郷インターから和光インターまで開通します。

市長賞に河原さん

【ふるさと祭り写真コンテスト】

第二回市民ふるさと祭りの『写真コンテスト』の表彰式が十一月十一日（水）午後一時三十分から中央公民館で行われ、受賞作品の展示も同時に行われた。

今回のコンテストには百二十八、約二百点が応募され、厳正な審査の結果、特選十二点、入選二十点、佳作二十五点の作品が選ばれた。実行委員会委員長には本町の西嶋光男さん、市長賞には本町の河原英夫さんが選ばれた。

河原英夫さん

【案内図】

「博士になられた方は子供たちの豊かな情操のためにぜひ、昔の遊び・年中行事など、郷土資料館事業で、わざの伝承等に協力頂きたい」と話している。

今後も知恵博士・わざ博士の募集はずっと続ける予定で、たくさんの博士の誕生を期待している。応募資格は六十歳以上。

◆御宴会料理承ります
◎駐車場完備
出前迅速
中華料理　美芳
（本三商店街）☎281-1619
三ッ和店もよろしくお願いします

ジャスコカードなら
●特別ご招待会のご案内
●電話一本でチケット手配
●電話か八方志で全国どこでも一本の宅配
●指定の日にスピーディ
●ホテル、レジャー施設の優待割引
●毎月20日の5%割引
●会員誌A.I.U.Eを毎月
●海外旅行傷害保険への加入が無料
●500円分の買物割引券進呈
●お得な振当証券や各種保険のご案内
などいろいろな特典がいっぱい！
ただ今 新会員募集中
川口市根岸3180　TEL048(285)7811　ジャスコ川口店　JUSCO

教科書・参考書・書籍・文具
金川屋書店
鳩ヶ谷店　☎(281)1100
東川口店　☎(295)0101

美容室メルシーパリ
鳩ケ谷市桜町２－５－１増淵ビル２Ｆ
Tel.048(283)2057

おしゃべり談話室

「耐えられないよ」「ちょいと世話焼」

ひとつ違いの弟が来春結婚する。みんなが「おめでとう、おめでとう」って祝福してくれる。親父もおふくろも「ありがとうございます。ありがとうございます」って嬉しそうに頭をさげている。弟は第で、もうお世話焼き攻撃」にウンザリ！

さあ、今度はお兄ちゃんの番ね。ヒロシくん（ああ、彼女の写真を眺めては一ニヤ、デレデレ！うん、たしかに、彼女は可愛いい。妹になってオレのことお兄さん」なんてよよと思う。

だから、そこまでは許せるんだ。おふくろの妙に張り切った「新家庭に必要」な食物も、弟の定期便のラブコールも。問題はそこから先だよ。近所のオバサン達の噂話攻撃を『ちょいとお世話焼き攻撃』にウンザリ！

さあ、今度はお兄ちゃんの番ね。ヒロシくん（ああ、彼女の写真を眺めては一ニヤ、デレデレ！うん、たしかに、彼女は可愛いい。妹になってオレのことお兄ちゃんのファンなんだから頑張ってネ……オレ耐えられないよ、きっと、あの若奥様もおんなじ心境だろうな。同情しちゃうよ。

（辻・公務員・二十四歳）

私、約束を守ったのに…

女の友情ってこんなものなの？だがなんだかなっぱりわかからないうちに「気がきかない女」ということになって仲間はずれ。どうしても納得がいかなくて…。

私たちは、同期入社の五人の女の子で、いつも一緒に行動する仲良しグループをつくっていました。リーダーの和子が社内結婚をすることになったのだけれど、彼女は、私にだけ打ち明けて、「みんなには絶対内緒にしておいてね」って。せめてグループの人には、発表してもいいんじゃないのって言ったら「ううん、だめ」。彼女たちお喋りだから。あなたにだけよ」っていうから、私は言いたいの我慢して、ほかの二人には黙っていたの。グループになる前、ひとりぼっちです。会社、辞めようかなあ。

（大谷・ＯＬ・二十三歳）

ダイエット失敗の巻

久し振りに会ったA子、元々ポチャとした体形だったのにアレッと思うほどスリムに、聞けばりんご・ダイエットの成果とか。「たった3日間我慢すればいいのよ」――さて、3日間のんこだけが食事に耐えクキロ減！「やったあ」――1か月後大せかったキロ増。「バカねえ、その後のカロリー制限が大事なのよ」という言うひとつ夫の墓の草引くなどのユニークで共感を呼ぶA子の言葉にシュン。

（匿名希望・四十二・藤）

『鳩ケ谷市民短歌会』

力作揃いの短歌大会

文化祭の初日を飾った「第二回鳩ケ谷市民短歌大会」。今回は五十七名、一六七首の応募がありました。そこでイキイキネットワーキング第二十三回はこの短歌大会を主催する『鳩ケ谷市民短歌会』を訪問、緊張感あふれる大会の模様を取材してみました。

鳩ケ谷市民短歌会は約三年前の平成二年二月に鳩ケ谷在住の「埼玉県歌人会」の水野昌雄さん、鎌倉千和さん、岡田博さん、河内教さん、栃原幸子さんの五人が発起人となって発足しました。指導にあたられている水野昌雄先生は埼玉文芸誌を受賞され、現代歌人協会会員、埼玉歌人会理事。

「身近にこんな素晴らしい先生がいらしてよかった」と会員の人気もピカ一。

現在、会員数は三十九名。三十代から最高齢は八十二歳まで。顔ぶれをみると五・六十代の女性の方々が多いようです。

みんな毎月第一日曜日の歌会を楽しみにしています。

各人が新作一首を持ち寄り、みんなで批評しあって、最後に先生がまとめられるとさ

東団地創設の頃をふりかえって

甲田さんご夫妻（ご自宅にて）

昭和三十三年八月完成と同時に入居し、初代自治会長をされ、現在も東団地にお住まいの甲田隆男さんにお話を伺いました。

この時の入居者は五百世帯、約千七百人。当時の鳩ケ谷の人口の一割を占めていたそうです。まだ住宅公団は全国的に少なく、住宅難の時代で家賃は五千三百円。月収が家賃の5・5倍ないと入居出来なかったのですから、かなりのエリートだったことが伺えます。

「新聞社の人がかなりいましてね。ホワイトカラーの若い人達が多く、声優や南極探検隊の隊員もいました。今はヒューストンにいますが外国へ転勤して団地を出ていった人もいましたね。三十三年たって、当時からの人は一割弱になりました」

自治会結成で諸問題解決
初代会長の甲田さんに聞く

しかし、バスは公団まで乗り入れとあったのに浦寺止まり。団地までの道路は舗装もされてなく、ドロンコ道でおまけに街灯もない状態。諸問題解決のために新聞記者だった平野さん（前参議院議員）の呼び掛けで「自治会」が結成され、会報『武南だより』が創刊された。交渉の結果、バスは赤羽・東公団間の乗り入れが実現、道路の舗装も翌年の二月には完成しました。

若い団地婦人たちはミニスカート、ショートパンツ姿で町を歩き、買物は東京へ。

「地元で買物してほしいとの商工会の申し入れに、新聞紙で包装するのはやめてほしいという要望を出したり、町のスタイルが変わってきましたね」

ベットタウン化の波もまだなく、静かといえば静かな町に突然現れた東京県民。鳩ケ谷の人たちにとって、団地族はまさにカルチャーショックだったのです。

遊び心で歩いてみよう
東公団通りタウンウォッチング
県道 越谷・鳩ケ谷線
桜町 鶴横局
マスヤ酒店
和菓子 中ばし
ミニキッチン ポパイ
佐藤椅子
すきすき大吉
ラーメン
味噌ラーメンがおいしいそうです
吉野屋
フリ焼
創美堂
眼鏡屋さん
ドミサービス
ドミックス
爬虫類も飼います
小林ストアー
肉 魚 野菜 八百屋 雑貨
スナック サツマ
ペットショップ
武南ストアー
鳩ケ谷ビジネスホテル
IR鳩ケ谷食堂
赤羽
ケンタッキーフライドチキン
ケンタッキーフライドチキン
ケンタッキーフライドチキン